

## 質疑応答(要旨)

Q1	事業整理の一環として、不採算事業の廃止をしたとのことですが、具体的にはどのような事業を廃止したのでしょうか？
A1	環境事業で行っていた光触媒事業などです。光触媒事業は技術を確立していたものの、事業規模の拡大を図ることが出来なかったため、廃止を決定するにいたしました。 また、事業の廃止には該当しませんが、研究開発を行っていたレアメタル元素の幅を限定し、LiB事業にかかる研究開発に専念することも決定しております。
Q2	「ふくしま産業復興企業立地補助金」の採択を受けたとのことですが、補助金額はいくらでしょうか？また、今後、数年間にわたり複数回、交付されるのでしょうか？「ふくしま産業復興企業立地補助金」以外の補助金を受領する見込みはありますか？
A2	当該補助金は建物及び設備への投資が対象となっており、最終的な投資額に応じて補助金額が決定する方式であるため、具体的な金額は現在のところ未定でございます。 また、交付は一度のみとなっております。 他の補助金を受領する予定はございません。現時点において、本事業に関連するような補助金制度が創設される予定があるとは、伺っておりませんが、今後、新たな支援制度が設けられる可能性はあるのではないかと考えております。
Q3	LiB事業を通して目指す姿として、LiB材料の供給量で国内シェア10%獲得、売上高で現行の4倍、経常利益で現行の30倍という数値を発表されました。可能な範囲で構いませんので、もう少し詳しく教えていただけますでしょうか？
A3	事業戦略上、詳細につきましてはご容赦いただければと思いますが、当社の有する独自技術を武器に、志を同じくする企業様とも連携しながら、達成したいと考えております。
Q4	貴金属事業と環境事業の違いについて、教えていただけますでしょうか？
A4	貴金属事業と環境事業は工程廃棄品や廃液から有価金属を回収し、再生して販売するといった点では同じビジネスモデルであると言えますが、取り扱う品目や種類が異なっております。 例えば、電子デバイスの一つである水晶振動子の生産工程において、微量の貴金属を薄く蒸着させる工程があります。貴金属事業ではその工程で使用される防着板等を預かり、洗浄することで貴金属を回収し、再利用できるようにするといった事業を行っております。 環境事業では工場が発生する廃液を集荷し、不純物として含まれる有価金属を回収することで廃液を新液へと再生するとともに、回収した有価金属を精製し、販売するといった事業を行っております。
Q5	使用済み電池の集荷について、仕入先確保の道筋はできているのでしょうか？
A5	当社が考えております「LiB to LiB」ビジネスは、いくつかの段階がございまして、まずはLiBメーカーの製造工程から排出される工程廃棄品を対象とし、その後、市場に出回る使用済み電池を本格的に対象とする計画としております。事業戦略上、仕入先についての詳細につきましてはご容赦いただければと思いますが、一定の道筋がついているものと考えております。

## (ご留意事項)

この資料は、弊社説明会にご出席できなかった方のためのご参考として掲載しているものであり、説明会でお話した内容をそのまま文章に起こしたものではありません。ご了承ください。